

2017.October



熱戦!! 第68回 四国地区 大学総合体育大会 レこくそつたい
 記録写真で見る!!
 今号の内容
 教育・研究活動紹介
 生徒指導支援センター
 葛西 真記子 所長 から
 国際交流
 留学生たちのレポート
 アメリカ留学体験記
 私が真似したい日本人
 学外研修での思い出
 「健康とは?」
 心身健康センターの
 伊藤先生より
 第34回
 多額
 援け
 さんシャイン大作戦
 ほか
 用意はいい? みんなが主役だ!

学園だより

GAKUENDAYORI

学園だより No.76

CONTENTS

2017.10

| | |
|---|----|
| 君は大学生生活をいかに過ごすか..... | 1 |
| 理事 大石 雅章 | |
| ようこそ鳴門へ ～新任教職員の横顔～..... | 2 |
| 伊藤 弘道, 喜多 容子, 早田 透, 若井ゆかり, 松岡 宏晃, 青木 勝幹 | |
| 教育・研究活動紹介..... | 4 |
| 先生たちをサポートする生徒指導支援センター 生徒指導支援センター 所長 葛西真記子 | |
| 熱戦！！ 第68回四国地区大学総合体育大会..... | 5 |
| 競技日程・成績, 壮行会・競技の模様 | |
| もうすぐ鳴潮祭..... | 8 |
| さぁ用意はいい？みんなが主役だ！笑顔輝け！サンシャイン大作戦 第34回鳴潮祭（大学祭）実行委員会委員長 堀 智仁 | |
| 課外活動News ～新しく設立しました！～..... | 10 |
| 男子バレーボール部 部長 山口 聖司 柔道部 部長 小谷 真由 鳴教学生日本語教室 代表 砂川 瑞紀 放送研究会 代表 西本 好花 | |
| こんにちは附属です..... | 12 |
| 小学校1年生 附属小学校 教諭 田中 將太 ボランティアの心 附属中学校 教諭 久保希代香 わかる, できる, 一人一役！楽しい合同校外学習 附属特別支援学校 教諭 山本 毅 楽しかった夕べのつどい・宿泊保育 附属幼稚園 藤川佳余子 | |
| 国際交流..... | 14 |
| アメリカ留学体験記 学校教育学部 森兼 寛登 私が真似したい日本人 学校教育研究科 張 錦霞 学外研修での思い出 特別聴講生 高 彩彩 | |
| 学生なんでも相談室..... | 18 |
| 学生なんでも相談室室長 井上とも子, 相談員 西野麻衣子, 合田 歩 | |
| 学生会・院生会だより..... | 19 |
| 楽しんでいきましょう！ 学生会長 服部 良介 進化, 深化, 親化 院生会長 山家 泰輔 | |
| 健康手帳 「健康とは？」..... | 20 |
| 心身健康センター 伊藤 弘道 | |
| 行事予定 / 編集後記..... | 21 |

君は大学生生活をいかに過ごすか

◆ 理事（教育・研究担当）（兼）副学長（教育・研究担当）

おお いし まさ あき
大 石 雅 章

大学生活は、社会人として如何に生きていくかを考え、必要な能力を身につける重要な時期であります。教員養成系大学である本学では、ほとんどの学生が教員を目指していることでしょう。そこで教員にとって必要な能力は何かを常に考えて行動することが大切です。大学生活は、授業、課外活動、ボランティア、アルバイト、趣味、遊びなど多様な活動から成り立っています。これらの活動の中に身につけるべき能力への学びがあります。目的もなく日々漠然と過ごせば、能力はほとんど身に付かず大学生活を終えてしまうことになるでしょう。自らの将来を見据えて習得したい能力を意識して活動することが大切です。

まず、言うに及ばず教科の理解を深めることが重要です。教科の内容を吟味し質の高い教育を行うには、多角的な視野や価値を育む教養も不可欠です。読書にも励んでいただきたい。子どもたちが理解しやすい授業は決して容易なことではありません。実習等を通じて実践的に学ぶことにより、さらにその能力を伸ばすことができます。

また、教科として十分に準備をしえたとしても、学級崩壊など授業を行う状況が整っていなければ、全く意味がありません。子どもや保護者と信頼関係を育み落ち着いた教室運営が必要であります。他人の意見や行為を受け止める寛容な心と、自らの考えを的確に伝える能力が不可欠です。これらの能力は授業だけでなく、日常生活の様々な活動の中で習得していくものでしょう。さらに学校は

教員全体がチームとして運営されており、チームの一員として自覚し協働できる能力が必要です。

教科の内容も時とともに変化していきます。グ

ローバル社会の進展にともない、小学校教育では英語の教科化が始まり、教員の英語力が問われています。本学はJICA（国際協力機構）と連携して開発途上国の研修員を多数受け入れています。来学しているこれらの研修員と交流することは、国際力をつける上で良い機会となるはずです。

日々の諸活動に能力を磨く機会を見つけ、主体的に取り組み充実した大学生活を過ごすことを期待しています。



ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～



◆ 特別支援教育専攻・心身健康センター 伊藤 弘道

皆さん、こんにちは！この4月から廣瀬政雄教授の後任として心身健康センターに赴任しております伊藤弘道です。コースとしては特別支援教育を専攻しています。私は平成11年3月に徳島大学医学部を卒業し、その後徳島大学小児科やその関連病院で小児科医としての研鑽を積んできました。特に小児神経学を専門と

しており、徳島大学病院などで、発達障害（自閉症、注意欠如多動症、学習障害など）、てんかん、脳性麻痺などの患者さんを多数みてきました。皆さんとは講義、合宿、定期健診、調子を崩して心身健康センターに立ち寄られたとき（そのようなことがないほうがいいですが…）などにお会いできると思います。それではどうぞよろしくお願い致します。



◆ 言語系コース（英語）講師 喜多 容子

今年4月から、言語系コース（英語）に参りました喜多容子と申します。昨年度までは、鳴門市内中学校で英語教員として勤務しながら、外国語コーディネーターとして、校区2小学校で兼務し、高学年を中心に外国語を教えていました。外国語初等中等教育における英語教育及び小学校英語教育での実践を生かし、大学と教育現場の橋渡しをしたいと思っています。特に、外国語科における小中連携を研究領域としています。また、アメリカに3年間滞在し、英語教授法修

士号（MA-TESOL）をシアトルパシフィック大学で取得したり、フルブライトプログラムに参加し世界中の英語教員と交流できたりした経験から、異文化理解についても大変興味を持っております。英語を使い世界中の人々とコミュニケーションできる喜びを、学生の皆さんと分かち合いたいと願っています。そして、学生の皆さんが、広い視野を持ち、グローバル化に対応できる力を養い、世界に羽ばたく人材となれるように支援していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



◆ 自然系コース（数学）講師 早田 透

本年4月より自然系コース（数学）に着任致しました、早田透と申します。出身は鳥取県で、鳥取大学ならびに広島大学で数学教育学を専門に学んで参りました。

教員に必要な資質の一つは、授業を科学的に観る目です。言い換えると、例えばある成功した授

業を観たとき、何故成功したのか、他の教室で再現可能か、そもそも本当に成功したと言えるのか…を、経験だけではなく、明確な根拠で述べていくための目です。数学教育学の知見を以て学生の皆さん、ならびに地域に対して、授業を科学するという立場から貢献させていただき所存です。よろしくお願い申し上げます。

ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～



今年度4月より、教職大学院教員養成特別コースに着任いたしました若井ゆかりと申します。昨年度までは、鳴門市内の小学校に勤務しておりました。それ以外にも鳴門教育大学附属小学校や長野県で教員をしていたこともあります。また、5年前、本学大学院で美術科教育

◆ 教員養成特別コース 講師 若井 ゆかり

について学ばせていただいております。ご縁があり、懐かしい大学に勤める機会を得ましたことをうれしく思っております。本学では、これまでの経験を生かし、教員を志す学生の皆さんの夢の実現に向けて、精一杯支援していきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



本年4月に文部科学省から異動となり本学の財務課長をさせていただいております。四国で暮らすのは、初めてなので、家族とともに四国の文化、食などを楽しみたいと思います。

さて、「財務」という職名のとおり私の仕事は、本学のお金に関する業務をしております。大学の

◆ 経営企画部 財務課長 松岡 宏晃

財政は非常に厳しい状況にある中、より多くの方が鳴門教育大学で学びたいと思える魅力ある大学にしていくために、いつ、どのように、皆様からいただいている貴重な授業料や入学料、国の交付金等を使っていくのが良いのか、日々頭を悩ませているところです。どこまでできるか分かりませんが、がんばっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



本年4月1日付で経営企画部施設課長に着任いたしました青木と申します。

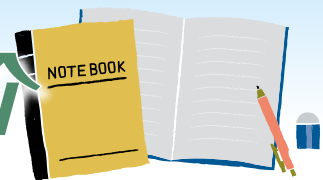
昭和55年4月高知医科大学を最初に香川大学、金沢大学、徳島大学、香川大学、前任の島根大学では、初めての管理職として勤務して参りました。出身は、香川県です。

◆ 経営企画部 施設課長 青木 勝幹

鳴門教育大学は、小規模な大学ではありますが、高度な教職の専門性を備えた優秀な教員就職率1位を続けており、キャンパスも緑豊かで環境の素晴らしい本学の一員になれたことを誇りに思い、山下学長の下、教育研究環境のさらなる発展のため、微力ではありますが全力を尽くしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



教育・研究活動紹介



先生たちをサポートする生徒指導支援センター

「生徒指導」は「学習指導」とともに学校教育における必要となる指導です。しかしながら、いじめ・不登校・暴力行為などの生徒指導上の諸問題は現在も解消されず、また保護者対応の難しさなどの新たな問題も生じています。このような状況の中で、「生徒指導のできる先生」を必要としている学校現場や教育委員会の方々の要望に応えるべく、本学において平成27年（2015）年4月に生徒指導支援センターが開設されました。

現在生徒指導支援センターには、10名のスタッフがいます。各スタッフは様々な専門分野から学校現場の生徒指導に関する研究や教育に長年従事してきた専門家です。

本センターは、「教員及び学校の生徒指導力を向上させることにより、生徒指導上の諸問題を解消すること」を目的として、以下の業務を行っています。

- ①学部生、大学院生及び教員の生徒指導力養成
カリキュラム及びプログラムの開発
- ②生徒指導リーダー及びいじめ防止スタッフ等の人材養成
- ③スクールカウンセラー等の活用モデルの構築
- ④生徒指導に関する相談
- ⑤その他、生徒指導支援に関する業務

平成28年度は、「生徒指導に係わる教師力の高度化」に向けてのプログラム開発として、教材・資料集「生徒指導の理論と実践」を作成しました。また、170件を超える職員研修への講師派遣、問題事象に関する検討会議への助言者派遣、関係資料の提供などを通して、教員・学校の生徒指導力向上のサポートをおこなってきました。

本センターの最終目的は、これらの業務により、学校現場の切実なニーズである「生徒指導分野の

◆ 生徒指導支援センター 所長 葛西真記子

スーパーティーチャー」を養成することです。

地域連携センターの三階にあります本センターには、いじめ、不登校等の生徒指導に関する図書も多数蔵書しています。是非一度たち寄ってみてください。



生徒指導に関する検討会



講演会



生徒指導支援センターホームページ

熱戦!! 第68回四国地区大学総合体育大会

第68回四国インカレが、徳島大学を主管大学として 徳島県内各会場で開催されました。

本学からは、13競技に17団体・総勢188名（男子147名・女子41名）の選手が参加し、熱い戦いを繰り広げました。

| 参加競技種目 | 参加団体名 | 競技会場 | 開催日程 |
|-------------|----------------------------|-----------------------------|---------------|
| 1 陸上競技 | 陸上競技部 | 鳴門大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム | 7/7, 8 |
| 2 硬式野球 | 野球部 | 鳴門大塚スポーツパーク オロナミンC球場 | 7/1, 2 |
| 3 硬式庭球 | 男子硬式テニス部 女子硬式テニス部 | 大神子テニスセンター | 7/7, 8, 9 |
| 4 バスケットボール | 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部 | 鳴門大塚スポーツパーク アミノバリューホール | 6/24, 25 |
| 5 バレーボール | 男子バレーボール部 女子バレーボール部 | 徳島市立体育館 | 7/8, 9 |
| 6 サッカー | サッカー部 | 徳島スポーツビレッジ | 6/24, 25 |
| 7 ラグビー | ラグビーフットボール部 | 四国大学 しらさぎ球技場 | 5/21, 27, 6/4 |
| 8 バドミントン | バドミントン部 | 徳島市立体育館 | 6/30, 7/1, 2 |
| 9 柔道 | 柔道部 | 徳島県立中央武道館 | 7/8 |
| 10 剣道 | 剣道部 | 鳴門大塚スポーツパーク ソイジョイ武道館 | 6/24 |
| 11 ハンドボール | 男子ハンドボール部 女子ハンドボール部 | 北島北公園総合体育館 | 7/8, 9 |
| 12 弓道 | 弓道部 | 鳴門大塚スポーツパーク 弓道場 | 7/7, 8, 9 |
| 13 フットサル | フットサル部 | 徳島大学 常三島体育館 | 7/8, 9 |
| 13競技 / 17団体 | | 開会式 : 7 / 7 閉会式 : 7 / 9 | 徳島大学 |

大会成績

総合 男子9位（前回7位） 女子11位（前回12位）

競技別（3位以上） 陸上競技 フィールド 第3位

個人【種目別】（3位以上）

陸上競技

| | | |
|-------|-------|-----|
| 越野 勇貴 | 走幅跳 | 第1位 |
| 岡崎 愛由 | 走高跳 | 第2位 |
| 原田 佳奈 | 円盤投 | 第2位 |
| 上野 瑞穂 | やり投 | 第2位 |
| 伊藤真由美 | 100 H | 第3位 |
| | 400 H | 第3位 |



熱戦!! 第68回四国地区大学総合体育大会



熱戦!! 第68回四国地区大学総合体育大会



もうすぐ 鳴潮祭

さあ用意はいい？みんなが主役だ！笑顔輝け！サンシャイン大作戦

◆ 第34回鳴潮祭（大学祭）実行委員会委員長 堀 智 仁

みなさんこんにちは！！このたび、第34回鳴潮祭の実行委員長を務めさせていただくことになりました堀智仁です。今年の鳴潮祭は11月10日（金）～11月12日（日）に行われる予定です。さて、今年のメインテーマは・・・



に決まりました。

今回は第34回ということで、テーマの中にふんだんに34を入れました。今回の鳴潮祭のテーマでは、鳴教生、近隣の地域住民の皆様など、鳴教祭参加者全員が主役である、という思いを込め、また、鳴潮祭参加者全員の笑顔が輝くようにという願いを込めています。実行委員一同、学生のみならず、近隣住民の方々や学校職員の方々、学祭を開催するにあたって協力してくださった方が楽しめる企画を考えております。さて、今年の鳴潮祭に対して皆さんはどのような事を期待し、何を思っているのでしょうか？1年生にとっては初めての鳴潮祭であり、期待と不安の両方の思いを持っていることでしょう。しかし、鳴潮祭では「1年生が主役である」という風潮があります。1年生には、ステージや模擬店などで大いに活躍してもらい、みんなに笑顔を届けてほしいと思います。2年生は昨年鳴潮祭を経験していることから、昨年以上の鳴潮祭にしたいという思いがあります。よりよい鳴潮祭にするために、初めてで不安がつもの1年生を昨年の経験を活かして、しっ

かりと引っ張って行ってほしいと思います。また大学院生の方々、大学職員の方々、地域の方々も参加していただけるような鳴潮祭にしましょう。

それぞれの思いを裏切らないよう、私たち実行委員13名は過去の実行委員の方々からアドバイスをもらい、企画や準備などを進め頑張っています。

では、ここで今年度の鳴潮祭実行委員会委員を紹介したいと思います。



もうすぐ 鳴潮祭

第34回鳴潮祭実行委員会委員



三役として全体をまとめる上段左の写真より、左から、戸石、堀、吉田。

企画として企画の作成やライブの運営を手がける上段右の写真より左から、林、鍛冶、久米川。

広報としてスポンサー集めやパンフレットの作成に励んでいる下段左より、左から、新居、田中、五十嵐、三笠。

模擬店として衛生面の管理などをする下段右の写真より、左から、安藤、熊谷、定面。

この13人で最高の学祭をする事を目指しています。これからいろんな困難があると思いますが、この13人なら乗り切れると思います。皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

最後となりましたが、鳴門教育大学同窓会、後援会の皆様、スポンサーを引き受けてくださった皆様、学生課の方々などの多くの支援により私たちは活動でき、鳴潮祭を行うことができます。誠にありがとうございます。

課外活動 News ～新しく設立しました!～

男子バレーボール部

私たち男子バレーボール部は毎週水曜日、木曜日、土曜日に練習をおこなっています。人数はプレイヤー16人（学部生11人、院生5人）マネージャー8人と少ない人数ですが、人数が少ない分結束力もあり楽しく部活ができています。試合もたくさん参加し、この前の四国リーグでは念願の2部昇格を果たし、実力もついてきています。私たちは2部で戦っていますが、全員が経験者ではありません。大学からバレーボールを始めた選手もたくさんおり、ほか



◆ 男子バレーボール部 部長 やま 山 ぐち 口 せい 聖 し 司



の部活と掛け持ちしている選手もいます。なのでバレーボールをしたことのない人でも気軽に始められます。経験者はもちろん、少しでも興味ある方はぜひ見学に来てください!



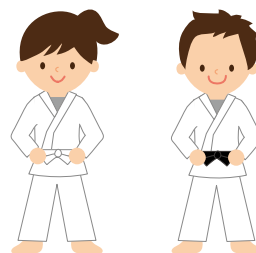
柔道部

私たち柔道部は男子8人、女子4人、計12人で活動しています。そのうち黒帯は8人、初心者は4人です。毎週月曜日と木曜日に稽古を行っています。短い練習時間の中集中して真剣に稽古に励んでおり性別や学年は関係なくお互い教えあいな



◆ 柔道部 代表 こ 小 たに 谷 ま 真 ゆ 由

がら技術を高め合っています。また、それぞれが違う目標に向かって稽古しており、初心者なら初段を取ること、経験者なら試合に勝つことなどを目標とし日々稽古に励んでいます。初心者の方でも気軽にはじめることができるので、ぜひ興味があるかたは見学に来てください。



課外活動 News ～新しく設立しました！～

日本語で国際交流！

皆さん、こんにちは。私たち「鳴教学生日本語教室」は、毎週火曜日、鳴門市共済会館3階にて元気に活動しています。アメリカ、中国、フィリピン、ベトナムなど、様々な国から来た鳴門在住の外国人の方々に日本語を教えることを通して、異文化交流をしています。

私たちは主に日本語の授業をしています。実はサークルのメンバーは皆、日本語を教えることに関しては、全くの初心者です。「日本語での会話を楽しんでもらいたい！」「日本での生活を楽しんでもらいたい！」という熱い思いのもと、メンバーで協力し合いながら毎週授業を行っています。

日本語教室では日本語の授業だけではなく、様々な季節のイベントも開催しています。今年度

◆ 鳴教学生日本語教室 代表 すな かわ みず き 砂 川 瑞 紀

は子供の日や七夕を祝うイベントを開催し、皆で日本のお菓子を食べたり、ゲームをしたりして交流を楽しみました。

「年齢、国籍の壁を越えて、気軽に国際交流できる場所」「いつも皆が笑顔でいられる場所」、そんな「鳴教学生日本語教室」で私たちと一緒に活動しませんか？



放送研究会

放送研究会は今年7月に新たに設立しました。現在は学部1、2年生のみでかなりフレッシュなサークルになっております。会員の半数以上が放送未経験者でこれからどういった方向に進んでいくのかまだ手探りではありますが、来年のNHK大学放送コンクールに向け、少しずつ練習を重ねています。また、FM徳島さんに協力という形で、鳴門第九100周年に向けたラジオドラマの制作も現在の大きな活動の一部となっています。

放送といえば、原稿を読んだりする「読み」のイメージが強いと思いますが、それだけではありません。放送の活動は幅広く、アナウンスや朗読などの読みの部門から、映像ドラマ、ラジオドキュメントなど、映像や音声を扱ったりすることも多いです。もちろん台本を自分たちで書いたりもし

◆ 放送研究会 代表 にし もと この か 西 本 好 花

ます。半分映画部のような、演劇部のような、かなり多様性のある自由度の高い活動内容となっております。

また放送研究会ではまだまだ会員を募集するとともに、お仕事の依頼もお待ちしております。コンサートや発表会など様々な行事の司会進行などありましたら、お気軽にお声掛けください。



小 学 校

小学校1年生

うららかな春、4月12日。102名の新入生が、附属小学校にやってきました。体より大きなランドセル。ぶかぶかの帽子。

そんな1年生も、5月になればもう何年も通っていたかのように、意気揚々と学校中を探検。給食の準備も早々に済ませ、元気に「いただきます」の大合唱。そして、脱兎のごとく運動場。明るく楽しい学校生活。



◆ 附属小学校 教諭 ^た田 ^{なか}中 ^{しょう}將 ^た太



6月には城山公園でザリガニ釣り。濡れても擦り傷をつくっても、めざすザリガニに出会うまで。そして、もうすぐ夏休み。あっという間の4ヶ月。1年生の成長を、大学そして附属校園で見守っててください。

中 学 校

ボランティアの心

「先生！台風に備えて外のプランターを片付けましようか！」3年生から頼もしい声がかかります。台風直撃の前日、ボランティア部の生徒たちは汗だくになりながら正門通りに並ぶたくさんのプランターを引き上げる作業を行いました。

本校のボランティア部は、「学校を美しく」をモットーに、朝と放課後の時間を使い、校内の美化に励んでいます。特に学校の顔である正門通りの清掃には熱心に取り組んでおり、風が吹けば落ち葉を集め、カンカン照りの日はプランターの植物にたっぷりの水を注ぎます。登校してくる生徒のみんなや来校者の方々にすがすがしい気持ちで学校に入ってもらおうとコツコツと活動を続けています。また、夏休みには、地域に貢献する活動として学校周辺のゴミ拾いを

◆ 附属中学校 教諭 ^く久 ^ほ保 ^{きよ}希代香

行いました。「ポイ捨て禁止の看板のすぐ下にタバコの吸い殻が落ちていた」「水路にゴミがたくさんあった。あれを何とかしなければ。」など、生徒たちからは新たな気づきがいくつも出され、有意義な活動となりました。

この夏をもって卒部した3年生に代わり、新たな部長・副部長のもと動き始めたばかりのボランティア部。今後も「学校、地域のために何ができるか」を生徒とともに考え、行動に移していきたいと考えています。



特別支援学校

わかる，できる，一人一役！楽しい合同校外学習

附属特別支援学校では，児童生徒の「生活」に焦点を当て，「ライフキャリア」（職業・地域・家庭等，生活全般において，生涯にわたる役割や経験の積み重ね）の形成に向けて，保護者や関係機関と連携しながら教育実践に取り組んでいます。

また，学校研究では，主体性・共同（協働）性・個別性の観点で，支援の方法を評価しています。

中学部では，梅雨の合間の7月6日（木）に「あすたむランド」へ合同校外学習に行きました。6月には，各学級で「校外学習」と「生活訓練棟での宿泊学習」を体験し，仲間意識を高める学習を経験しています。この合同校外学習でも，事前学習として中学部を3グループに編成して「あすたむランド」について調べ学習を行い，グループごとに発表したり，行きたいエリアやアトラクションを選択したりして，当日に臨みました。

◆ 附属特別支援学校 教諭 ^{やま}山 ^{もと}本 ^{たけし}毅

合同校外学習当日は，グループで見通しを持ちながら活動し，一人ひとりが友だちと，「あすたむランド」を楽しみ，学習の成果が大いに発揮できました。

事後学習でも，笑顔で生き生きと活動していた画像を確認したり，「楽しかった」「面白かった」等，自己評価もできたりしていました。これからも，生活全般における経験を拡げ，質の向上をめざした「できる状況づくり」に，学校全体で取り組んでいきたいと思います。



幼稚園

楽しかった夕べのつどい・宿泊保育

◆ 附属幼稚園 ^{ふじ}藤 ^{かわ}川 ^{かよこ}佳余子

今年度も，夏休み前に「夕べのつどい」「宿泊保育」を行いました。年長児が「おばけやしき」「魚すくい」などの夜店や夕食の献立の計画をし，意見を出し合ったり役割を分担したりしながら準備を進めていきました。お客さんとして来てくれる年少児や年中児に合わせて「こうした方がいいなあ」「怖くないおばけやしきコースもあるよ」などと，友達同士でいろいろとアイデアを出し合いながら準備をしていく中で，幼稚園のリーダーとしての喜びを感じ，責任を果たしているようでした。

当日には，幼稚園児だけでなく附属小学校の先生方もたくさんいらしてくださり，活気に満ちて，子どもたちの表情も輝いていました。夕食後には，保護者の協力をいただき阿波踊りや花火をしました。みんなで一緒に踊った熱気と夜空を彩った花火は，夏の良い思い出になりました。

した。年長児はその後，みんなで幼稚園に泊まる経験もしました。自分で考えて行動したり，友達と一緒に乗り越えていく体験をしたりして，寝食を共にしながら経験できたことは幼児たちにとって大きな自信となったようです。

幼児たちは，周りのいろいろな人から支えられたり，愛情を感じたりして，のびのびと自己を発揮しながら生活しています。私たちも感謝の気持ちを忘れず，幼児一人ひとりの思いに寄り添いながら，成長の喜びを共に感じていきたいと思っています。





アメリカ留学体験記

◆ 学校教育学部 ^{もり}森 ^{かね}兼 ^{ひろ}寛 ^と登

私は2016年の8月からアメリカ合衆国のノースカロライナ州ウィルミントンにあるノースカロライナ大学ウィルミントン校（UNCW）に学部交換留学生として10ヶ月間留学していました。ウィルミントンは人口約10万人の大西洋に面する港街で、映画産業が非常に盛んです。多くの映画やテレビドラマが撮られ、「東のハリウッド」などと呼ばれています。私が留学していた時も、いくつかの映画が撮影されていました。ウィルミントンはとても活気がありますが、街自体がそこまで大きくないので治安も良く、留学するには良い場所だと思います。

私は大学構内にあるアパートにルームメイト3人と暮らしていました。そのうちの2人はアメリカ人の学生で、もう1人はウェールズからの留学生でした。授業が始まるまでは4人で海に行ったり、スポーツ観戦などをしたりしました。授業が始まってからは、話す機会は少なくなりましたが宿題を手伝ってもらったり、課題を提出するときに英語をチェックしてもらったりしました。

授業についていくのは大変でしたが、教授や友達の手助けもあって、全ての授業で良い成績を収めることができました。特に以前から興味があったアメリカ文学の授業がおもしろかったです。毎回約300ページの本や論文などが課題として与えられ、それについてクラスで議論するという形で授業が進んでいきました。毎日図書館で朝の3時からいまで予習や宿題をしていると、疲れる時もありましたが、教授やクラスメートの助けを借りて、なんとか最後までやり遂げることができました。特にクラスメートと詩の朗読や演劇を準備したりしたのが思い出に残っています。

また大学の学習センターで日本語を9ヶ月間教えていました。初級日本語と中級日本語を学んで

いる学生の宿題の手伝いや日本語会話のパートナー、日本語文章の作成などをしていました。また3ヶ月ほど中国仏教を研究されている教授のアシスタントとして働いていました。図書館から資料を集めて整理したり、日本語の資料の翻訳もしていました。どちらの仕事をしていても、日本について質問される機会が少なからずあり、自分自身もう少し日本について勉強する必要があると感じました。

大学の中にはスターバックスなどのチェーン店や映画館などもあり、勉強していない時も楽しく時間を過ごすことができます。休みの日には友達にダウンタウンや観光名所に連れて行ってもらいました。また長期休業中には東海岸をバスや飛行機を使って1人で旅してきました。ニューヨーク、ワシントン、ボストン、ヴァージニア、ペンシルベニア、サウスカロライナ、ジョージア、フロリダなどを訪れアメリカの様々な側面を見ることができました。

振り返ってみると10ヶ月という短い期間ではありましたが、多くの事を学び、少しだけ成長することができたような気がします。特に現地の友達や先生、地域の方々との交流は生涯忘れる事の出来ないものになりました。これからは専門分野の勉強をさらに深めていくと同時に、日本、そして徳島の魅力を海外に伝えていければと思います。最後に今回の交換留学を支援して下さった鳴門教育大学、また日頃お世話になっている英語コースの先生方、そして家族に感謝の意を表したいと思います。

〈学校教育教員養成課程 中学校英語科教育コース 4年〉

国際交流





私が真似したい日本人

私は日本で7年間生活をしています。神戸から始まり、そのあと京都、鳴門の暮らしを体験してきました。これまで、たくさんの人と出会い関わる中で、自分に取り入れたいと考えたことがたくさんあります。その中で、今日は特に私が真似したいと感じた人のことをお話したいと思います。

ある日、学校内の留学生のための餃子パーティーがきっかけで、先生のお宅に伺いました。客室に入った瞬間、壁に飾られているメダルが目に入りました。私は、何のメダルか気になったので、近づいて見ました。私は好奇心を持ちながら、「家族のだれかが、オリンピック選手ですか」と先生に尋ねました。すると、それは、先生の70代の奥様が国内外のマラソン大会に出場し、獲得されたメダルだとわかりました。さらに42.195kmを5時間ぐらいで完走されたと聞いてとても驚きました。その時、私は自分も70代でこの距離を完走できるだろうかと思いました。しかし、今の私なら5kmぐらいは簡単に走れるだろうと考え、次の日、ウチの海公園でランニングを始めました。走り出したときは、自信满满でしたが、2周目には息が上がり、体が熱くなりました。3周目には、足が痛くて、汗だらけ……もう無理だ、絶対無理……足はもう動かないという思いにおしつぶされそうになりました。目標に向かって最初の一步を踏みだしてから最後までやり遂げるのは、辛く困難なこともたくさんあり、とても難しいことだと改めて思いました。先生の奥様もきっと私と同じような気持ちを持ちながらも完走されたということは、とても忍耐強く、諦めない根性があるのだと思いました。身体的な健康だけでなく、精神的な健康ということについても学ぶことができました。



◆ 学校教育研究科 張 錦霞 (中国)

そして、あと2つ先生の奥様から学んだことがあります。それは、ボランティア精神と環境を守る意識です。中国では、一般的に70代になると、誰かのために頑張ることはなくなってくるように思います。しかし、先生の奥様は、視覚障害の方々のために新聞を読んで、その内容を録音し、伝えるボランティアをされています。見返りを期待せず、障害のある方や困難がある方に支援をされていることに尊敬の念をいただきました。これから、私も家族と一緒に進んで、ボランティア活動をしていきたいと考えています。それから、奥様が環境問題やゴミ削減のために、スーパーでビニール袋を使わずにマイバックを使ったり、ペーパータオルを使わずにハンカチを持ち歩いたりされる習慣があるということを知りました。私も先生の奥様のような立派な人になりたいです。小さい行動だけれど、習慣づけて継続するだけで、世界が大きく変わります。一人一人が自分にできる小さなことから始め、環境を守っていくことはなかなか真似ができないけれど大切な意識だと思います。

中国には「有志者事竟成」、「爱人者、人恒愛之、敬人者、人恒敬之」という古くから伝わる一文があります。つまり、「困難があっても目標を持って頑張れば達成できる」、「人を愛する者は、人からも愛され、人を尊敬する者は、人からも尊敬される」ということです。日本で先生の奥様から学んだことや中国で古くから伝わる話を心に留め、これからの生活に活かしていきたいと思いました。中国に帰国してからも、日本で学んだこのような素晴らしいところを伝え、日中両国の友好の架け橋になりたいと思います。





学外研修での思い出

◆ 特別聴講生 ^{こう}高 ^{さい}彩 ^{さい}彩

今回の学外研修はとても楽しかったです！大変勉強になりました。

まず、「伊弉諾神宮」に行きました。あまり大きくはないですが、歴史的な感じがしました。そこで30分くらい見学した後、「人と防災未来センター」に行きました。この「人と防災未来センター」は強く印象に残っています。ここでは阪神大地震の当時のビデオを見ました。生まれてから今まで一度も地震に遭ったことがないわたしにとって、地震とはどのようなものかということが想像できませんでした。防災の知識を身につけたら、地震が起こっても逃げられると、わたしは思っていました。でも、このビデオを見て、その考え方が変わりました。夜静かな街で、巨大な揺れが突然起こって、マンションや柱は1秒で倒れてしまいました。線路は断絶し、走っている電車は裂け目から落ちてしまいました。あのときのわたしの気持ちはただ怖いと思うだけではなく、非常に衝撃を受けました。初めて地震の残酷さを痛感しました。もしわたしがその地震を経験したら、あのときどんな気持ちになったのでしょうか？生きていけるのか、命を失うのか、想像するだけで怖くてなりません。地震は人ごとではなく、本当に命に関わる重大な問題です。地震が起こったら、運を天に任せるしかありません。いつでもどこでも命を奪う

可能性があります。その後、「神戸ハーバーランド」に行くと、商店街がいっぱい並んでいて、きれいな街があちこち見られ、時間の経過とともに、街が復興しているのが分かりました。この災害で失ったものはたくさんありますが、地震を通して日々の何気ない毎日がいかに大切かということを学ぶことができたと思います。

次に、先生と友達と一緒に昼食を食べに行きました。初めてインド料理を食べました。とても美味しかったです。量も多くて、食べ終わったら立てられないくらいお腹がいっぱいになってしまいました。日本人の女の子は大体小食なので、先生と日本人の友達は大丈夫かなと思いました。やはりわたしよりお腹がもっといっぱいになったことでしょう（笑）。

最後に「北野工房のまち」に行きました。ここではアイスクリームのサンプルを作りました。とても面白かったです。先生が注意するところを詳しく説明してくれたので、可愛くてきれいなサンプルが作れました。

今年の8月わたしは帰国することになります。今回の学外研修は最後の研修となりますが、先生もみんなもずっと私の記憶に残り続けると思います。この一年間いろいろ助けてくださったみなさん、本当にありがとうございます！





ひとりで悩まず、ちょっと話してみませんか？

学生なんでも相談室を開設して2年目を迎えています。7月からは、森松相談員が退職し、合田相談員が新たにスタッフとなりました。

森松相談員には、様々な話を聞いてもらった学生も多くいたと思います。その都度、親身になって話を聞く様子を見て、室長の私も常々、その熱心で真摯な相談態度に感心しておりました。退職に関して残るものとしては残念だったのですが、若い彼女の新天地をめざした生き方を応援したいと思います。

「フレー!フレー! 森松さん!」

森松さんに替わって合田さんがスタッフとして、すでに精力的に活動してくれています。合田さんは本学臨床心理士養成コースを修了されていて、本学のことを熟知しています。今までと変わらず、なんでも相談しにきてもらえらうれしいです。

昨年度は就学問題、就職問題のほか、人との関係で悩んでいる人も多く、この学生なんでも相談室を利用してくれました。今年度も、一人ひとりに「丁寧に、真剣に、手を抜かず」話をききながら、よい方向を共に探していく姿勢で、2人の相談員と共に相談に携わっていきたいと考えています。

「こんなこと相談しても良いのかな」と躊躇するときには、まず、話をしに来てください。話をするだけでも「心の元気」が取り戻せます。いつでも相談員2名が待っています。もちろん、

内容の守秘義務は徹底します。

今年度は、昨年度以上に、障害学生支援に取り組んでいきたいと思えます。サポーターも募集しますので、ふるってサポーター登録をお願いします。

(学生なんでも相談室室長 ^{いの}井 ^{うえ}上 ^ことも子)

学生なんでも相談室は、2016年4月に開室しました。

これまでに延べ来室者数は300人を超え、大学生活の中で起こる、さまざまな問題に悩む学生のサポートを行ってきました。全ての問題を解決することはできませんが、相談することによって、気持ちが楽になり良い解決法が見つかることもあります。

誰かに聞いてほしい、支えてほしいと感じたら、私たち相談員と一緒に考えていきましょう。必要に応じて、適切な関係機関と連携した支援、対応を行っています。相談内容については、誰にも知られることはありません。

また、学生生活を楽しく、充実して過ごせるように、定期的にミニ演奏会&おしゃべり会などのイベントも企画しています。困っていることがあるのにどうすればいいかわからない時、まずは話してみることから始めてみませんか？学生なんでも相談室は皆さんの来訪をお待ちしています。

(相談員 ^{にし}西 ^の野 ^{まい}麻衣子、^{ごう}合 ^だ田 ^{あゆみ}歩)

【開室時間】午前9時～午後5時（予約優先）

【TEL】087-687-6218

【E-mail】nandemo@naruto-u.ac.jp

電話やメールでの相談も受け付けています。

学生だけではなく、教職員の方もご利用いただけます。

プライバシーを守りたい方は、相談室のロールカーテンを閉めることも可能です。個室も準備できますので遠慮なくおっしゃってください。

学生会・院生会だより

楽しんでいきましょう！

みなさん、こんにちは！学生会会長の服部良介です。今年度も学生会一同は皆さまのより良い学生生活をめざして、楽しく活動しています。

先日、行われたかき氷大会ではなんと、過去最高の総量計63kgものかき氷が完売しました。澄み渡るような晴れの日、まさしくかき氷日和の中で、輝く学生の笑顔を見ることができたことをたいへんうれしく思います。

また、オープンキャンパスでは昨年に続いて今年も、『鳴教丸わかりっ！最強のガイドブック』を発行し配布させていただきました。制作にあたり協力していただいた企業の皆様、学生課の方々、学生の方々、皆さま本当にご協力ありがとうございました。内容としては、「学生の生活」というものがよくわかる、もはや鳴門教育大学生の生態

◆ 学生会長 ^{はっ}服 ^{とり}部 ^{りょう}良 ^{すけ}介

そのものといっても過言ではないものとなっております。未来の後輩たちの道しるべになればと考えております。

1年はこれから折り返しとなりますが、少しでも学生が笑顔になれること、楽しめることをこれからも企画していきたいと思っております。我々の活動が楽しいキャンパスライフの一助となれましたら幸いです。ではみなさま、後期も楽しんでいきましょう！



進化，深化，親化

こんにちは。平成29年度院生会長を務めております、自然系理科コースM1の山家泰輔と申します。自分自身会長になってから多くの方にご迷惑をおかけしたと思っておりますが、ひとまず前期の役割を終え、一息つくことができました。

さて、前期の行事ですが、ソフトボール大会と国際交流パーティーが行われました。ソフトボール大会は天候にも恵まれ、熱い試合が二日間行われました。また、国際交流パーティーは学部生や留学生の方にも参加していただき、盛り上がることができました。いずれの行事も、院生会役員のみなさんをはじめ、多くの方にご協力をしていただきました。ありがとうございました。

後期にもリレーマラソン、ソフトバレー大会といった行事があります。良いところは引き継ぎつ

◆ 院生会長 ^{やま}山 ^が家 ^{たい}泰 ^{すけ}輔

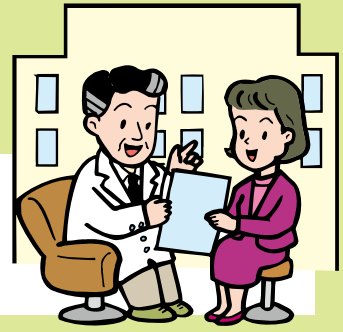
つ、改善点は先輩から教えていただき、よりよい行事運営に取り組んでいきたいと思っております。院生会は大学院生の交流を深めるための組織であるので、これからもその目的を達成できるように、精一杯取り組んでいきたいと思っております。よろしくをお願いします。



健康手帳

健康とは？

◆ 心身健康センター 伊藤弘道



皆さん、こんにちは！この4月から廣瀬政雄先生の後任として心身健康センターに赴任しております伊藤弘道と申します。私のプロフィールはこの学園だよりの新任教職員の紹介の欄に記載しておりますので御参照ください。どうぞよろしくお願い致します。

健康手帳について執筆してほしいとの依頼があり、さて何を書こうかと考えていましたが、今回はまずはそもそも健康手帳の「健康」とは何かということについて考えてみたいと思います。健康の定義について調べてみますと、世界保健機関（WHO）憲章では健康について、[Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.]（健康とは身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態であり、単に疾患がないとか虚弱でないということではない）と定義しています。単に病気でないということではなく、完全に心身共に良好な状態であるということであり、健康であるためのハードルはなかなか高いような気がしますがいかがでしょうか？この春先に学生・職員定期健診を行いました。やはり加齢や肥満があるとそれに関連して何らかの異常所見でひっかかる頻度が増加しているように思います。加齢要因はしかたがないにしても、肥満に関しては食事・運動などの生活習慣の改善が重要です。また、身体面のみでなく、メンタルヘルス面においても調子を崩される方はおり、中には不登校状態になる方もいます。メン

タルヘルス面で不調な方の相談も心身健康センターでは受け付けておりますのでご連絡ください（予約制です）。

日本国憲法第25条には「すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあり、健康を人権としてとらえています。また、教育基本法第1条では教育の目的を規定しており、「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっどび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とされています。即ち教育の目的として心身の健康があるということです。また逆に、心身の健康が教育活動を行うにあたって必要ですので、心身の健康と教育は相補的な関係にあり、お互いに高め合っていかなければなりません。心身健康センターでは皆さんが大学生活を送っていく中で、その活動の基盤となる心身の健康を守っていくようにがんばってまいります。何かありましたら気軽にセンターにお寄りください。それではどうぞよろしくお願い致します。



| 行事等【平成29年10月～平成30年3月】 | |
|------------------------------------|--|
| 共通 | 10月1日(日) 創立記念日(36周年) |
| | 10月2日(月) 授業開始 |
| | 10月10日(火) 「後期履修登録」締切 |
| | 10月11日(水)～10月17日(火) 後期履修登録変更期間 |
| | 11月10日(金)～11月12日(日) 大学祭・学生表彰表彰状授与式 |
| | 12月18日(月)～12月25日(月) 冬期集中講義 |
| | 12月26日(火)～1月4日(木) 冬期休業 |
| | 1月下旬 サークル・リーダーシップ・セミナー |
| | 3月1日(木)～3月31日(土) 学年末休業 |
| 3月16日(金) 学位記授与式, 各賞授与式, 学生表彰表彰状授与式 | |
| 学部 | 10月18日(水)～10月31日(火) 施設実習(2年)【鳴門こども学園等】 期間中10日間 |
| | 10月23日(月)～10月27日(金) 特別支援教育観察実習(4年)【附属特別支援学校】 |
| | 10月23日(月)～11月17日(金) 特別支援教育実習(4年)【附属特別支援学校, 県立特別支援学校】 期間中2週間 |
| | 10月24日(火)～10月25日(水) 3年次生合宿研修 |
| | 10月23日(月)～11月3日(金) 副免実習(4年)【附属中学校】, 【附属小学校 23日(月)～】 |
| | 1月31日(水) 「卒業研究」提出締切 |
| | 2月16日(金)～2月22日(木) 後期試験期間 |
| 大学院 | 11月30日(木) 1年次生(修士)(長期履修2年次)「学位論文計画書」提出締切 |
| | 2年次生(修士)(長期履修3年次)「学位論文計画書(変更版)」提出締切 |
| | 1月19日(金) 2年次生(修士)(長期履修3年次)「学位論文」提出締切 2年次生(専門職学位課程)「最終成果報告書」提出締切 |

入試関係行事

- 学部推薦 (I型) 11月19日(日)
- 大学院 (中期選抜) 11月25日(土)
- 大学入試センター試験 1月13日(土)・14日(日)
- 学部推薦 (II型) 1月23日(火)
- 学部 (前期日程) 2月25日(日)・26日(月)
- 大学院 (後期選抜) 3月4日(日)
- 学部 (後期日程) 3月12日(月)

学生会主催行事

- クリスマス・イルミネーション 11月下旬～12月 図書館前
- 卒業記念パーティー 3月16日(金) 体育館

院学生会主催行事

- ソフトバレーボール大会 12月2日(土) 体育館
- 修了記念パーティー 3月16日(金) 体育館

就職支援行事予定

- ※詳細は、就職支援室で確認すること!! (平成29年10月～平成30年3月)
- 3年次合宿研修……………10月24日(火)～25日(水)
- 大学院生就職研修会……………10月28日(土)
- 企業ガイダンス……………11月1日(水), 11月15日(水)
- 教採対策ガイダンス(基礎編)……………11月1日(水)・8日(水)・22日(水)・29日(水), 12月6日(水)・13日(水), 1月17日(水)・24日(水)・31日(水), 2月7日(水)
- 公務員等ガイダンス I・II……………11月8日(水), 2月7日(水)
- 教採対策ガイダンス(論作文編)……………11月15日(水), 1月10日(水)
- 就職ガイダンス I・II・III・IV……………11月29日(水), 12月13日(水), 1月10日(水)・24日(水)
- 身だしなみ講座……………12月6日(水)
- 教採実技ガイダンス(集団)……………12月2日(土)
- 本学出身教職関係者との情報交換会……………2月17日(土)
- 教採実技ガイダンス(個人)……………2月3日(土)
- 教員採用模擬試験……………12月16日(土), 1月27日(土)
- 教採対策特別ガイダンス……………1月～7月上旬

編集後記

第76号の『学園だより』をお届けします。
 本学の学生は、研究・勉学はもとより、課外活動、ボランティア活動などに常に全力で取り組み、他の大学に負けない活躍を見せています。本号が学生の皆さんの日々の活動を紹介することで、その一端をお伝えできれば幸いです。
 この学園だよりには、もうすぐ開催される鳴潮祭(大学祭)に向けた、実行委員の皆さんの熱い思いが語られています。学生だけではなく学校の教職員や地域の方々など、鳴潮祭の参加者全員が主役になり、笑顔が輝くという願いを込めたテーマには、自分たちを支えてくれている人たちへの感謝の気持ちが表れています。仲間と共に大学祭を創り上げていく楽しさや達成感を十分に味わってほしいと思います。
 最後になりましたが、ご投稿いただきましたすべての方々から御礼申し上げます。

